

「アホス。ピタルカナリエ」に

急性期・地域支援を強化

太樹院長・309床）は、東棟を全面建て替え、病院「エ」へ変更し、9月に新たなスタートを切る。病床数、デイケア機能を強化するなど、精神科医療を取り巻く

（加藤純広）

5階 整地する。

方 近年、精神科医療を取

。4 り巻く患者像が大きく変

16 室 化している。阜上院長は

環境 「以前は統合失調症など

。今 長期入院患者が中心だっ

解体 たが、現在は認知症患者

して が大半を占める。一方で、

国の方針は早期退院・地

域移行へと大きく舵を切

っており、病院もそれに

対応していかなければな

らない」と説明する。

急性期治療後の地域定

着を支えるため、新たに

リハビリセンターを設

置する。デイケア機能を

拡充し、アルコール依存

症、薬物依存症、ギャン

ブル依存症、買い物・ゲ

ームなどの嗜癮行動、摂

食障害、ストレス関連疾

患、女性専用など約8グ

ループを設け、それぞれ

に応じたグループプログ

ラムを展開する。

生活への移行を積極的に

支援していく考えだ。

急性期治療後の地域定

着を支えるため、新たに

リハビリセンターを設

置する。デイケア機能を

拡充し、アルコール依存

症、薬物依存症、ギャン

ブル依存症、買い物・ゲ

ームなどの嗜癮行動、摂

食障害、ストレス関連疾

患、女性専用など約8グ

ループを設け、それぞれ

に応じたグループプログ

ラムを展開する。

さらに思春期外来、不

登校外来、ひきこもり外

来といった専門外来を新

設するなど、外来機能を

大幅に拡充する。「急性

期病床を増やすだけでは

意味がない。退院後に患

者さんを地域で支える仕

組みがあつて初めて成り

立つ」と考えるからだ。

認知症患者は今後、一

クアウトするとみられる
ほか、社会資源の整備に
よつて長期入院の必要性
も低下している。阜上院
長は「慢性期病床だけに
依存する経営では、将来
的に病院の存続は難し
い」と危機感を示す。

一方で急性期病棟の整
備には手厚い人員配置が
求められ、人材確保も容
易ではない。精神科急性
期医療を充実させること
が今後の方向性だが、地
方都市では患者数にも限
りがある。地域医療全体
を見据えながら少しずつ
体制を整えていきたい考
えた。

新病院名の「カナリエ」
は、職員公募によつて決
定した。小樽運河を意味
する「カナル（Canal）
易ではない。精神科急性
期医療を充実させること
が今後の方向性だが、地
方都市では患者数にも限
りがある。地域医療全体
を見据えながら少しずつ
体制を整えていきたい考
えた。

「精神科は病院名や名
称の印象も大切。『ここ
のケア』を柔らかに伝
えられる名前にしたかつ
た」と話している。

光の祭典を意味する「ル
ミナリエ（Lumina
rie）」を組み合わせ
た造語で、「患者に希望
の灯をともし病院であり
たい」という思いを込め
た。

異種腎移植の国内初治験

28年に北大病院などで開始

明治大学発のスタート
アップ企業ボル・メド・
テック（神奈川）は、国
治験を、北海道大学病

院（札幌市北区）と湘南
鎌倉総合病院（神奈川）
で開始する計画を発表し
た。治験の開始は202
8年とし、準備を進めて
いる。

聴覚など3専門外来を開設

耳鼻咽喉科麻生

札幌市東区の耳鼻咽喉
科麻生病院（平塚仁理
院長が担当する。受け入れ
は医療機関からの予約の
み。

「顔面神経」それぞれの
専門外来を開設した。

聴覚外来は水曜日に福
田篤病棟医長、頸部・甲

状腺専門外来は金曜日に
瀧重成副院長と洲崎真吾

診療部長、顔面神経外来

紹介に広く応えていく。

同病院では、これらの
診療を既に行っている

が、診療体制の強化に伴
い曜日固定の専門外来を

開設した。総合病院から
の逆紹介、診療所からの

紹介に広く応えていく。

イベントは、今回で3回目
えている。



で療養環境を大幅改善

イベントは、今回で3回目
えている。